

チャペル週報

秘められたところでわたしは造られ
深い地の底で織りなされた。
あなたには、わたしの骨も隠されてはいない。
(詩編 139:15)



2005 5 30 ~ 6.3 No.7
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

5月30日(月) 神 中 村 悦 子 (M2)
社 チャペル・メディテーション 打 樋 啓 史 (宗教主事)
経 舟 木 讓 (宗教主事)
院 Ruth Grubel (宣教師)

5月31日(火) 神 契約更新日礼拝 山 内 一 郎 (理事長)
文 田 淵 結 (宗教主事)
法 讃 美 礼 拝 関西学院聖歌隊
経 経 済 と 人 間 野 村 宗 訓 (経済学部教授)
商 嶋 村 誠 (商学部助教授)
総 讃 美 と 演 奏 KSC Choir, K,G,B,C, Sandian Brass

6月1日(水) 神 中 道 基 夫 (神学部助教授)
文 讃 美 礼 拝 関西学院バロックアンサンブル
社 キリスト教とわたし 松 岡 克 尚 (社会学部助教授)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 経 済 と 人 間 河 野 正 道 (経済学部教授)
商 辻 学 (宗教主事)
理 中 津 良 平 (理工学部教授)
総 能 島 裕 介 (Brain Humanity代表理事)

6月2日(木) 神 ゴスペルクワイア
法 讃 美 礼 拝 関西学院聖歌隊
経 English Chapel Michael Lessard-Clouston (宣教師)
商 English Chapel Richard Stinson (宣教師)
総 今 泉 信 宏 (宗教主事)

6月3日(金) 神 }
文 } 上ヶ原キャンパス学部合同チャペル
社 } 於：中央講堂
経 }
商 }
理 「自然体で！」松木真一(宗教主事)

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
6月3日(金) 法科大学院のために 丸 田 隆
総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40~ 於 宗 教 主 事 室

イエスの許しと市民の良識

小 西 砂 千 夫

イエスは逮捕される直前に「あなたは今日、鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないというだろう」とペトロに予告したことはすべての福音書に書かれているが、とりわけルカによる福音書は、予告が実現した直後「主は振り向いてペトロを見つめられた」と記している。そして、ペトロは主の言葉を思い出して、外に出て激しく泣く。

振り向いてペトロを見つめるイエスの表情はどのようなものか。それは聖書のなかで気になる箇所の一つである。聖書は冷徹に人間に罪深さを描いている。その厳しさには容赦がない。しかしそれは、悔い改めることによってのみ、救いを得るという希望の裏返しである。

世の中では実に様々な問題が起きる。毎朝、ニュースを見るにつけ、社会の不安をあおる事件が、次から次へと起きることに驚かされる。問題を起こした企業や役所が世間から集中砲火を浴びることも少なくない。

非難すべき対象をマスコミが取り上げ、問題点を浮き彫りにすることは、無論、正しいものである。大学の広報の仕事を一時期させてもらったときに感じたことだが、マスコミは常に批判の牙を研いで、社会の問題をえぐる姿勢を持たなければならない。

しかし、報道する側の姿勢と、報道を受け止める側の、新聞なら読者、テレビニュースならば視聴者には、重い課題がある。非難の対象となっている組織に問題が多いとしても、その組織の構成者の少なくとも一部には、強い志と問題意識を持った改革者が存在するかもしれない。内部改革者は、外からの批判を追い風に組織を変えようと志す。報道をする側も、受け止める側も、そのような内部改革者の存在を意識し、改革者へのエールを込めたメッセージを発したり感じたりすることが必要である。それでこそ社会は浄化される。見えない内部改革者の存在を見ようとしたときに、その社会では、良識が発揮されたと言えるだろう。

イエスが望んでおられるのは、そのような良識ではないかと思う。その良識は、主イエスの存在を三度まで否定した者ですら、悔い改めによって救われるという信仰によって支えられる。自分が許されているという自覚が寛容を生むからである。

(産業研究所・教授)

ランバスチャペル・ヌーンコンサート

お昼休みのひととき、学生音楽団体によるミニコンサートをお楽しみください

5月30日(月) 関西学院大学交響楽団(管楽アンサンブル)

6月9日(木) 関西学院聖歌隊

6月13日(月) 関西学院バロックアンサンブル

6月14日(火) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月16日(木) 関西学院大学ゴスペルクワイア "Power Of Voice"

いずれも12時50分～13時20分、ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて

第165回ランバス演奏会

リコーダーアンサンブル「レアール」リサイタル

本学吹奏楽部の卒業生が中心となって結成されたアンサンブルです。プロの演奏家を迎えて、常にレベルの高い演奏を目指しています。

と き：6月16日(木) 午後6時開演(予定)

と ころ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原) <入場無料>

教職員・学生有志による日曜礼拝

授業期間中の第2第4日曜日に一部英語を用いるバイリンガル形式で礼拝が行われています。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

6月12日(日)、26日(日)

午前10時～11時 関西学院会館ベーツチャペル

CDライブラリー

宗教センター事務室には教会音楽に関するCDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までどうぞ。

使用済み切手収集にご協力ください

本学では、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。記念切手、外国切手だけでなく、通常切手も対象としています。宗教センター常設の回収箱にお届けください。

私たちがチャペルでオルガンの奏楽を担当しています

出野有沙美(社M2) 川村麻里子(法3) 小森あゆみ(社2)

遠藤友美賀(文M2) 三尾谷幸子(商3) 熊澤美里(文2)

中野友紀子(文M2) 大田詠子(文3) 柴田尚美(文2)

柳谷雄介(神M2) 新倉加奈子(社3) 北川千晴(文2)

原桃子(文4) 木村瑞貴(社3) 金谷すみれ(文2)

神田麻耶(総4) 廣部麻由子(社3) 高瀬万梨(経2)

荒木秀太(理4) 安井七緒子(文2) 久留島由子(総2)

帯川由布子(文3) 寺口あゆみ(社2) 下崎浩子(総2)

讃美歌を、出席者の皆さんが歌いやすいように弾こうとレッスンを重ねています。どうぞ、チャペルでは大きな声で讃美歌を歌ってください。